

三河湾の環境改善への取り組み

- ・三河湾は湾口部が狭い閉鎖性のため、富栄養化になりやすい特徴があります。
- ・過去の埋立等により干潟・浅場が約1,200ha失われました。
- ・埋立面積と赤潮の発生日数には因果関係があります。

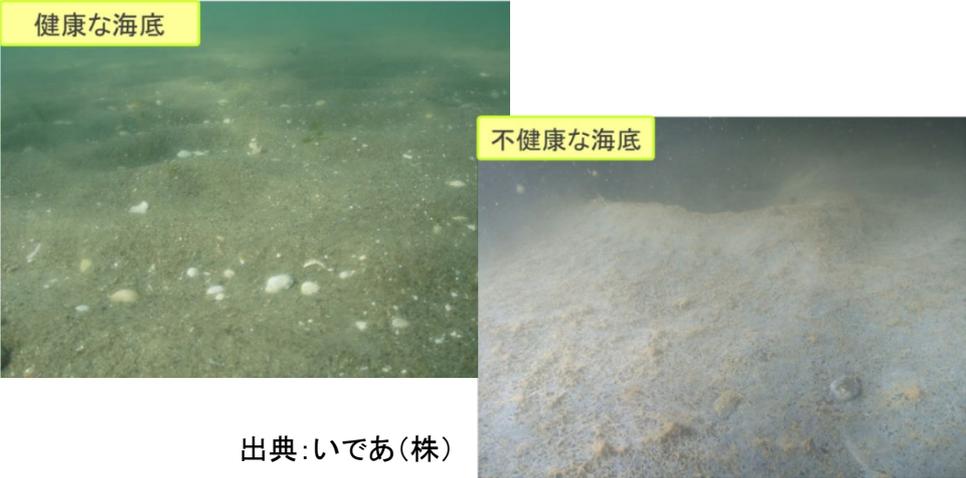
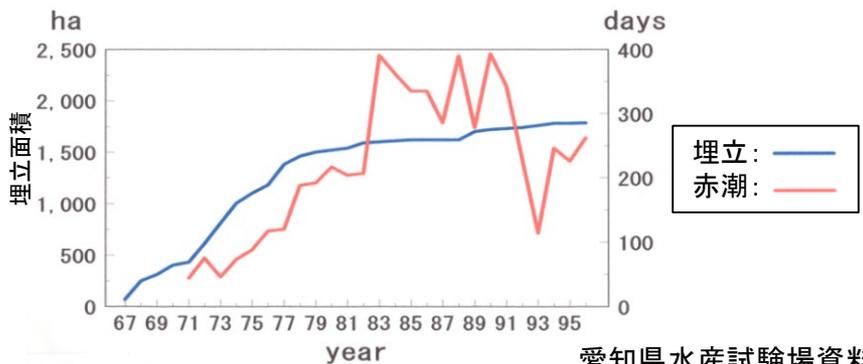
■埋立等により失われた干潟・浅場



■赤潮・苦潮の発生メカニズム



■干潟・浅場の減少による影響



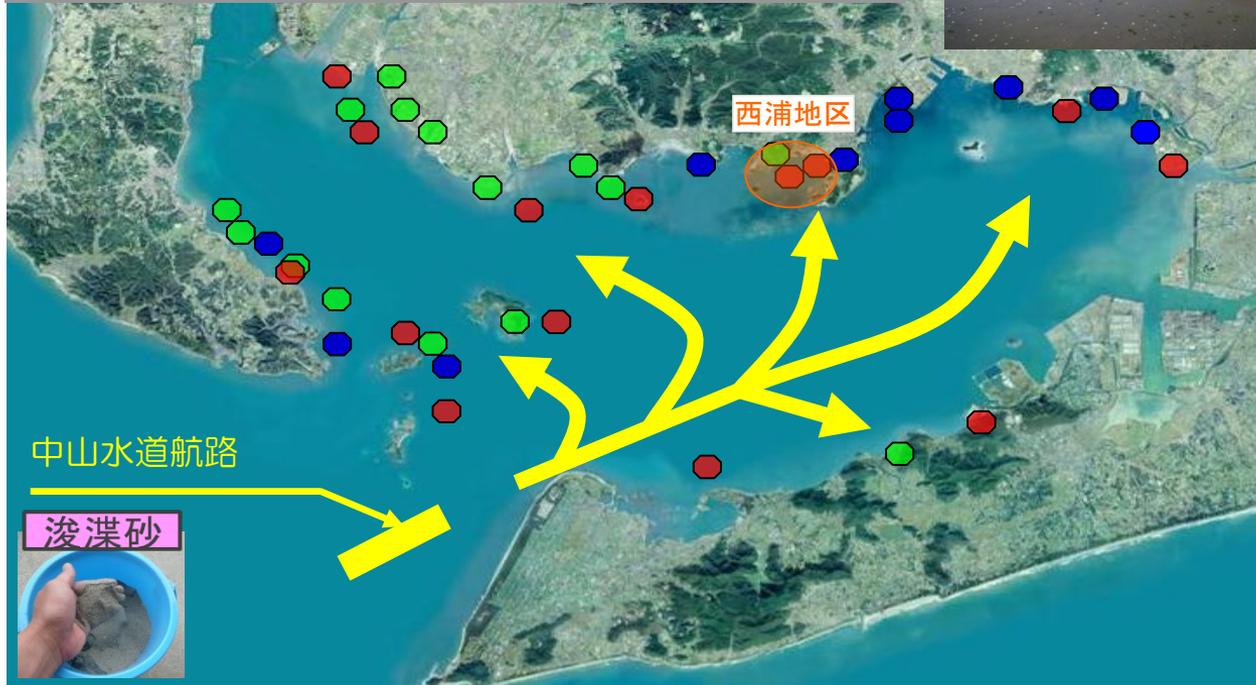
出典: いであ(株)

三河湾の環境改善への取り組み(シーブルー事業)

湾内の水質に関する課題に対して、中部地方整備局と愛知県が連携して平成10～16年度に中山水道航路事業で発生した砂質系浚渫土砂を活用し、約620haの干潟・浅場造成、覆砂を行いました。

その結果、造成区域では、周辺海域と比べDO(溶存酸素)値が高くなるなど水質、底質の改善や、底生生物の増加、生物の多様化といった効果が見られた。

- 国 施工箇所 (一般海域14箇所)
- 愛知県水産課施工箇所 (第一種共同漁業権内 15箇所)
- 愛知県港湾課施工箇所 (港湾区域及び漁港区域10箇所)



■西浦地区における底生生物種類のモニタリング結果

底生生物の増加
・生物の多様化



干潟生息生物をはじめ、希少生物の生息場としても機能

